



1月22（火）白旗仮設団地で行われた白旗小学校のもちつき。甲佐高校の生徒も参加しました。

うたごよみ 〱 如月 〱

「短歌」

渡辺幸士 選

- 息子とのクリスマス会市内まで酢豚を食べて
この年俣ぶ 赤星 文子
- 平成の戌を送りて亥を迎え災い無き年われは
願えり 緒方 明美
- ひとり旅したこともない夫は今遠い旅路の支
度している 塚原 暁益
- 闘病に明け暮れし夫と大晦日には平成最後の
除夜の鐘きく 池田キヨ子
- 去る年を惜しみつつ観る「紅白」は集う家族
をひとつ心に 吉永由紀子
- 遠き山今朝も真白き雪化粧清しき姿日々を観
せおり 上村やす美
- うたたねの短き夢に亡き父と母と姉とがほほ
笑みてをり 内田乃武子
- 庭先に凜と咲きたる白梅は人の心に永久に咲
きしか 白梅 武人
- 和みたる年で有りたし野仏は初日のなかに微
笑み賜う 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美 選

- つまらん 絶対駄目で云わっさん 広田みどり
- つまらん ゴルフカラオケ丸で駄目 下山 千恵
- つまらん いつまで続くカバン持ち 志垣 光
- つまらん 持つてる金は活かさにゃん 佐藤 葵
- つまらん 何の為教育したか 平井やよい
- つまらん 三振はするエラーする 長原 産賀
- つまらん 人の噂は真に受けん 佐野しょう
- つまらん 一人熱燗鍋料理 光永 六
- つまらん ベストセラーに騙かされ 井元あざみ
- つまらん 話題はいつも孫自慢 日高 美里
- つまらん 二番煎じじゃ皆聴かん 上田 梅清
- つまらん 好か飲屋迄梯子酒 日隈 元良
- つまらん 手酌で酔うた日曜日 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

12月11日(火)～1月10日(木)

birth **お誕生おめでとう**

住所	氏名	性別	保護者
船津	稲葉 美結	女	司
上早川	溜瀧 欄丸	男	一治
横田	上野 叶実	女	大輔
仁田子	岩下 一騎	男	祐輝

marriage **ご結婚おめでとう**

	住所	氏名
夫	芝原	西山 徹
妻	芝原	平川 結唯
夫	仁田子	中村 嘉希
妻	山都町	梶原 美紀
夫	菊陽町	大塚 剛
妻	津志田	北本 奈美

condolence **お悔やみ申し上げます**

住所	氏名	年齢	世帯主
津志田	清村タツメ	90	タツメ
中山	西坂ミチ子	77	ミチ子
東寒野	淵上ハツコ	100	レイ子
西寒野	向山 正春	69	太一
糸田	松野理一郎	89	芳子
仁田子	吉田トシ子	98	千枝子
安平	山下 敏子	92	敏子
麻生原	松岡 繁	78	代生子
有安	野仲 サエ	98	重敏

data **甲佐町の人口・世帯数**

項目	数	増減
男	5,054	△3
女	5,599	△9
計	10,653	△12
世帯数	4,266	△1

平成30年12月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



節分だからいり豆ご飯

ご存知ですか？

節分にいった豆を食べまね。これは「豆をいり」が「魔目を射る」となるからだそうだが、ご存知ですか？

大豆は「畑の肉」と言われるほど良質のたんぱく質を含んでいて、肉に匹敵するくらいです。ほかにも鉄分やカルシウム・ビタミンなどが多く含まれています。

そして、機能性物質であるイソフラボンも含まれていますが、摂り過ぎは逆効果です。くれぐれも食べ過ぎには注意しましょう。

*上の写真のご飯は、10%のもち麦を加えてあります。
*いった大豆ですから、しっかりとよく噛んで食べましょう。



作り方

- ①お米を研いでザルに上げておきます。
- ②いり豆でも、もう一度いり直しましょう。もしいり豆が手に入らなかったら、大豆をフライパンでじっくりいってください。
- ③でいり終わったらチリメンジャコを加え2～3分一緒にいりましょう。
- ④お釜に①、調味料、分量の水、③のいり豆とチリメンジャコを入れたらスイッチを入れ炊き上がりを待ちましょう
- ⑤炊き上がり十分に蒸らしたら大きく混ぜ、ふっくらさせて器に盛り付けましょう。

材料(4～5人分)

お米……………3カップ
いり豆……………ふた握り位(豆まきで余ったもので可)
しょうゆ……………大さじ3
赤酒……………大さじ1
チリメンジャコ……………約50g

編集後記

1月27日(日)に開催された『新甲佐町史』歴史研修会では、清正公山に登って、さまざま甲佐の草木を観察しました。ドングリやスキといった普段からよく目にしてはいるものや、実が着色料としても使われるクチナシ、オタマジャクシの卵のような実がたくさん付いているイワガネ、赤い実を付けたハナミョウガ、有毒のマムシグサなど、珍しい植物を発見。またイノシシなどが通った跡と思われるけもの道や水場など、自然観察指導員の中田さんに教えてもらいながら、1つ1つに目を向けることができました。参加した皆さんもメモを取りながら、熱心に観察していました。

1歩足を踏み入れただけで、豊かな自然に触れることができ本町の魅力を感じた1日でした。皆さんも身近な自然に改めて足を運んでみませんか。(り)